

三七六四番

山川やまかわを 中なかに隔へりて 遠とほくとも 心こころを近ちかく 思おもほせ我妹わがも

三七六五番

まそ鏡かがみ かけしぬて偲しぬへと まつり出だす 形見かたみのも  
のを 人ひとに示しめすな

三七六六番

愛うるはしと 思おもひし思おもはば 下紐したひもに 結ゆひ付つけ持もちて  
止やまず偲しのはせ